

「殺生石」物語考

物語の考察⑤

「殺生石」や「玉藻前」に関する神社や伝説があるのは、ひとり那須町のみではない。物語の中で玄翁和尚によって砕かれた石が、日本の各地に飛来したとされ、現在も神となって祭られているのは、「瓢箪から駒が出る」の感があり、興味深い。

そのいくつかを列挙すると、

◎「勝山の殺生石」は、岡山県真庭市勝山にある神社で、ここでは、玉雲大権現として奉られている。◎「内山神社」は、宮崎県宮崎市高岡町内山の神社であるが、他の神々に混じって、玉藻前も神として祭られている。

◎「常在院の殺生石」は福島県白河市表郷中寺、常在院の裏手に祭られている。

◎「会津高田の殺生石」は福島県会津美里町に、「殺生石稲荷神社」として敬われている。

◎「猪苗代の殺生石」は巨石で、福島県猪苗代磐根土田にある。

その他、

◎「豊後高田の殺生石」（大分県豊後高田市）

◎「安芸高田の殺生石」（広島県安芸高田市）

◎「越後高田の殺生石」（新潟県上越市）等々が、古資料に散見できる。が、各市の教育委員会や歴史民俗資料館、歴史博物館に問い合わせた結果、いずれも、伝説・史跡、那須の殺生石につながるものは、確認できなかったとの連絡を受けた。これらについては、今後の、より入念な調査が待たれる。

それにしても、那須地方のフィクションであるこの物語の内容が、何故、こうもまことしやかに、各地に飛び火し、しかも神となって今に生きているのであろう。これは大いなる民俗学的課題かもしれない。

ただ、言えることは、この物語には、日本人の精神に深く食い入る何かがある。そうでなくしては、数百年も、文学や芸能、そして神となって、しかも日本中に拡がって存在するはずがない。この物語には、何か、真実と普遍性が、深く秘められている。

筆者 前那須歴史探訪館 館長

齊藤 宏寿 先生(湯本在住)

今月のひとこと

校庭を三々五々に遊ぶ児ら

コロナウイルス吹っ飛ばす笑顔

かつこう

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、学校の臨時休業や不要不急の外出自粛など、子どもも大人も生活が大きく変わりました。こうした中、那須中央では、オンライン上のビデオ会議アプリを使った朝のホームルームを行い、タブレット上に映し出される生徒と先生が声を交わしま

した。町では、職員の接触機会を低減し役場機能を維持するため、4月21日から職員の在宅勤務を開始しました。サービスの低下を招かぬよう、業務の優先順位などを踏まえて試行錯誤しながら取り組んでいます。きっかけはともあれ、生徒と先生が学習以外の場面でもICTを活用するという変化を感じました。自身の在宅勤務にあたっては改めて身を引き締めて臨みたいと思います。

④

保育園では自主休園をお願いし、小中学校では臨時休業となっている中、規模を縮小して行われた入園・入学式(23頁)。子どもたちは、入園入学の喜びに胸を膨らませ、新しい友だちと送る新しい生活に期待を持っているようでした。保育園・学校で、元気いっぱい楽しく過ごしたいと思っている子どもたちのためにも、新型コロナウイルス感染症が終息し、日常が戻ることを願うばかりです。

⑤

こんにちは

赤ちゃん



畑
ゆい
祐衣
(丸山)

平成31年
2月12日生

父 和希さん 母 志織さん

祐衣ちゃんは…

動物好きで猫のらくくんが大好き。これからも明るい笑顔で大きく育ってね。

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口

(4月1日現在・住民基本台帳)
()の数字は前月比

・世帯数 10,378世帯 (+29)
・人口 24,913人 (-43)
男 12,385人(-39) 女 12,528人(-4)

あなたの「声」をきかせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。